



KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

No.373 2022
鹿児島ワイズメンズクラブ

1月号

- 国際会長 : Kim Sang-chaе [韓国] 世界とともにワイズメン Y's Men with the World
- アジア会長 : 大野 勉 [神戸ポート] 100年を越えて変革しよう Make a difference beyond the 100th
- 西日本区理事 : 新山 兼司 [京都トップス] Challenges for the future 未来への挑戦
- 九州部部长 : 森 律子 [八代] 小さなことにも大きな愛を込めて。そして未来へ
With great love for the little things And towards the future...



SDG's を鹿児島で!

It's time to think about SDG's in Kagoshima.

鹿児島クラブ会長 中堀 清哲

12月クリスマス例会の報告

12月14日、対面式でクリスマス例会が開催されました。麦野先生の心暖まるクリスマスメッセージ、山口ワイズのマジックショー、そして会員皆さんの一年を振り返ってのショートショートがありました。会食は出来ませんでしたが、心に残る例会になりましたね。

鹿児島クラブ 中堀 清哲



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



会長通信

鹿児島クラブ会長 中堀 清哲

SDG's を鹿児島で!

It's time to think about SDG's in Kagoshima.



2022(令和4)年が明けました。鹿児島の正月3が日は青空が広がり、素晴らしい初日を拝めることが出来ました。新型コロナウイルスに翻弄され続けております世界ですが、まるで何事もないような正月の青空がとても印象的でした。その穏やかな三が日が過ぎまして、我々鹿児島ワイズメンズクラブのメンバーにとりまして大変悲しい知らせが飛び込んできました。昨年、大晦日の日に樋脇麗子ワイズが81歳で突然お亡くなりになりました。急性心不全でした。1月6日の告別式に鹿児島クラブより神村ワイズ、松若ワイズ、松永ワイズ、新内ワイズご夫妻、私で参列いたしました。更に八代から森九州部長、守田会長ご夫妻も駆け付けてくださいました。出棺はワイズの皆さん中心でお棺を運ばせていただきました。心よりご冥福を祈るばかりです。現実的な事に目を向けますと、鹿児島クラブはこれで遂に会員数が一けた台になってしまいました。何とか危機感をもって今期の後半、会員増強に努めなければならないと思います。

年が明けてから霧島連山の白鳥山と大波池の2つの峰に立ちました。この2つの山は比較的に登り易く、初心者向けと言われています。白鳥山は標高1,361m、大波池は標高1,411mです。大波池は山の標高が左記の数字で、その火口湖の水面は1,241mの高さにあります。日本で一番高いところにある火口湖なのです。山の名前はなく、俗に『大波池』と呼ばれています。火口は周囲が約1.9キロありまして、歩くことが可能です。1月9日に久しぶりに歩いてみました。ヒンヤリとした空気、澄んだ青空と薄氷が張った湖面。まだ溶け切っていない霜柱をサクッ、サクッと踏みしめて行くと右手には11年前と4年前に噴火した新燃岳の火口が見えてきます。4年前の黒々とした溶岩からは水蒸気が上がっています。その奥には天孫降臨神話で有名な高千穂の峰がそびえています。眼下には錦江湾に桜島と開聞岳が望める絶景が続きます。これらの景色を眺めると、大自然の息吹を感じながら心が洗われてゆくのですね。「ああ、生きている、いや、生かされている」とも感じます。コロナ禍ではありますが何かにチャレンジすることの大切さをもう一度思い起こさせてくれた登山でした。今年は霧島連山の残り11峰登頂に挑みつつ、鹿児島ワイズメンズクラブの活性化に努めたいと思っております。皆さん、どうぞこの1年もワイズダムへのご奉仕にご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



理事通信

西日本区理事 新山 兼司

Challenges for the future
未来への挑戦



新年明けましておめでとう御座います。

西日本区内ワイズメン・ワイズメネット・コメントの皆様にとって本年も健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年もどうぞ宜しく願い申し上げます。

さて、2022年はワイズメンズクラブ国際協会創立100周年を迎える年になりました。1922年12月12日にトレード・ワイズメンズクラブという名前でチャーターされた最初のクラブを祝う日でもあります。

国際では、世界中のすべてのクラブが2022年5月1日から8日まで「祝賀の週」に1つ、または複数の祝賀活動を行うことを勧められています。

西日本区各クラブの皆様も「祝賀の週」に祝賀活動を開催されることを期待しています。又、ワイズメンズクラブ国際協会創立100周年を祝う会として2022年11月15日(水)～11月17日(金)台湾・台北市で開催されます。

東西日本区では、ワイズメンズクラブ国際協会100周年/東西日本区25周年記念を2023年2月4日(土)～2月5日(日)ANAクラウンプラザホテル神戸にて開催されます。

奮ってのご参加をお願い致します。

新型コロナウイルス オミクロン株による第6波も気になるころですが、今年に入って西日本区内は躍動しています。

2022年1月10日びわこ部新年会、1月15日阪和部新年会、1月19日京都YMCAチャリティーゴルフ大会、1月22日六甲部EMCシンポジウムと新年会、1月25日アジア太平洋地域100周年記念事業の Food Our Heritage and Culture Food Story の西日本区募集の締め切り日。1月29日西中国部部会が開催となっています。まだまだ各部、各クラブでは盛沢山の活動をされています。私の今年の願いは、素晴らしい活動をされている西日本区のワイズメンの会員が増えていくことです。昨年の7月前期半年報では会員数1,367名となりました。

西日本区78クラブ中56クラブが20名以下の会員数クラブとなっています。
 会員増強をしなければいけないと解っていても増やせない悩みがあるはずで
 会員の高齢化だけではなく、もっと根深いところに原因はあるのではと思います。
 会員の増やせない悩みの解消をさせて頂きたいと思っています。新年会や部会にお伺いしますので、何なりと声
 を掛けて頂ければ幸いです。

2021年12月17日、京都YMCA主催の市民クリスマス弦楽四重奏コンサート・礼拝&キャロソングをウイング
 ス京都2階イベントホールで開催されました。

協賛として京都ウエストクラブ・京都キャピタルクラブ・京都みやびクラブ・京都ウエルクラブの皆様にお世話に
 なり感謝!!

2021年12月18日、宝塚ワイズメンズクラブ主催の第17回チャリティー市民クリスマスが宝塚ベガホールに
 て開催されました。素晴らしい音楽を聞かせて頂きありがとうございました。

最後に重要なお知らせを報告します。

国際本部から東・西日本区で国際選挙の投票権を持つ各クラブ会長（または事前に登録されている投票権執行
 者）宛てにメールが発信されています。

「各候補者のプロフィールおよび推薦文」および「投票規定」を読んだ後「投票手順」をクリックして投票をお
 願いします。

いずれも日本語版が用意されています。投票の締め切りは2022年1月29日（午前1:00日本時間）になりま
 すので、それまでに必ず国際選挙の投票をして頂けますようお願いいたします。

01 企画例会報告 Planning meeting report

日 時：令和4年1月11日 火曜日
 19:00～20:00
 場 所：Zoom
 出席者：神村、中堀、園屋、徳田、松若、松永

12 定例会報告 Planning meeting report

日 時：令和3年12月14日 火曜日
 場 所：鹿児島国際交流センター
 出席者：11名
 司会者：山口

12 月 例 会 の 記 録	クラブ在籍者	10名
	出席者	10名
	メネット	0名
	ゲスト	1名
	ビジター	0名
	メイクアップ	0名
	12月出席率	110%



福島県以南に分布する常緑針葉樹で、40 m
 以上にもなる高木である。ウラジロモミ程では
 ないが、葉の裏の2本の気孔線が目立つ。葉の
 先端が2つに割れているのが特徴で、モミと区
 別が付く。花は2月頃開花し、雌花は紫色で、
 枝先に付く。卵形の球果は秋には緑から赤褐
 色に変わる。モミとは異なり、球果は枝の下に
 垂れて付く。

学名は *Tsuga sieboldii* で、マツ科ツガ属であ
 る。sieboldii は、例のシーボルトが登録したと
 いう意味である。

今月の聖句

初めに神は天と地を創造された。
 地は混沌として、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。
 神は言われた。「光あれ。」すると光があった。
 神は光を見て良しとされた。神は光と闇を分け、
 光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第一の日である。

(創世記 1:1-5)

鹿兒島YMCA報告

新年あけましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、日本YMCA同盟では、主事育成を目的とした研修を大きく3段階に設定して行っています。その3段階を表すのがステップ研修と呼ばれるものです。

ステップ1は地区のYMCAで行われることが一般的です。鹿兒島の場合、西日本地区YMCAに属しており、広島から西のYMCAで構成されています。少し話題がそれますが、全国に6大YMCAと呼ばれる事業規模の大きいYMCAがあり、西日本区では広島YMCAと熊本YMCAがその6大YMCAに含まれています。そのような背景もあって、私は2013年に熊本YMCAが主催するステップ1研修を修了しました。

昨年、ステップ2研修を修了しました。ステップ1はYMCA職員としての学びを深める研修、ステップ2はYMCA主事としての学びを深める研修になります。ステップ1は2泊3日の研修でしたが、ステップ2は75日間という長丁場で開催され、キリスト教の理解やYMCAの歴史、中間管理職に必要な知識などを学び、自分で研究テーマを決めてレポートを作成します。75日間という時間の中で学びだけでなく、同期生との人間関係を築き、その後のYMCA人生においての大事な出会いとなることも多くあります。私も素晴らしい同期生に恵まれこの長丁場を一緒に乗り越えていくことができました。

前置きが長くなりましたが、ステップ研修の最終段階、ステップ3研修に今年の1月11日から15日までの期間参加し、無事修了することができました。ステップ3は経営に関する学びとキリスト教理解を深めることが主な内容です。YMCAの中期計画にある事業方針について深掘りして学び、事業を進めていくために必要なことを学びます。キリスト教理解では、説教演習があり、与えられた聖書の箇所年末からずっと向き合ってきました。私の与えられた箇所はマルコによる福音書1章16節から20節、4人の漁師を弟子にする話の箇所です。話としては2組の兄弟がイエスの弟子となっていくところですが、これをとことん解釈することに努め、説教に作り上げていくことの難しさを少しだけ体験できたことは、私にとって素晴らしい経験となりました。

全てのステップ研修を終えることができ、いよいよ鹿兒島YMCAのためにしっかりやらなければと思います。ここまで道を備えてくださった多くの皆様に感謝するとともに、祝福されている道と信じてこれからも努力してまいります。

2022年もどうぞよろしくお願い致します。

鹿兒島YMCA 新内 博之

